

薬の伝言板

アレルギー

No.137 2009年4月

丸子中央総合病院 薬局

4月になり暖かくなると同時に、鼻がムズムズしたり目がかゆくなったりする方が多くなります。この花粉症を代表として、現在では日本の人口の約3分の1が何らかのアレルギーを持っていると言われています。

今回は花粉症を含む、身近なアレルギーについてお話しします。

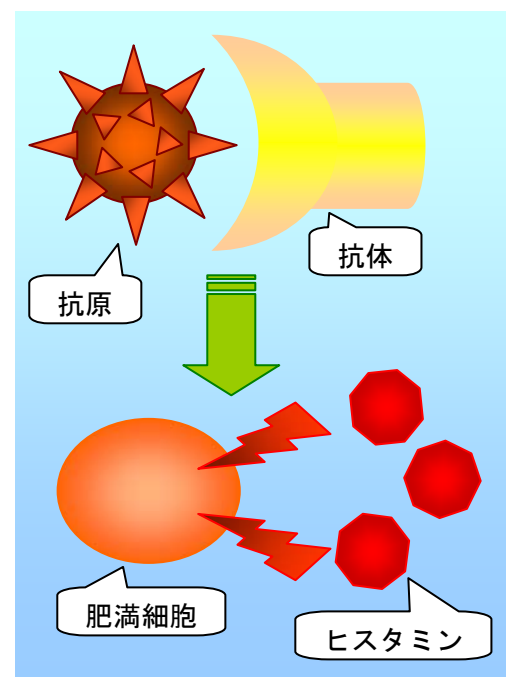


アレルギーとは？

私たちの体には、外部から体内に侵入してくる異物に対して、退治しようとする働き(免疫機能)があります。アレルギーとは、この働きがある特定の異物に過剰に反応してしまう症状をいいます。

どのように起こるのか？

侵入してくる異物を**抗原**といい、それに対して体で作る免疫物質を**抗体**といいます。1度侵入した抗原には、それに対応した抗体が作られるため、再び抗原が侵入してきた時には免疫機能が働きます。しかし抗原に対して「侵入→攻撃」を繰り返している間に過剰に働いてしまい、その刺激で**ヒスタミン**などの化学伝達物質が放出され、アレルギーの症状を引き起こします。



症状は？

アレルギーは、その原因物質の種類によって様々な症状が現れます。一般には粘膜を刺激して、くしゃみや鼻水、鼻づまり、咳などを起こしたり、皮膚に炎症を起こして発赤や腫れ、かゆみなどを生じたりします。他にも頭痛や嘔吐などが起こる場合もあります。

アレルギーにかかりやすい人は？



家族がアレルギー体質の場合は、本人もアレルギー体質の場合が多いようです。他にも寝不足や食生活の乱れから、自律神経の働きが乱れたり、腸内環境が悪化したりした場合にも免疫機能が正常に働かなくなり、アレルギーにかかりやすくなってしまいます。

アレルギーの種類

アレルギーの種類には、原因物質によって様々な種類があります。

花粉症

スギやヒノキ、イネなどの花粉が原因となって起こるアレルギーです。くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなど鼻炎と目の結膜炎が主要な症状です。



食物アレルギー



卵や牛乳、大豆、ソバなどの食物が原因となり、アトピー性皮膚炎や気管支喘息などのアレルギー性疾患の原因になります。

アナフィラキシーショック

アレルギーのある食物を食べてしまった場合や、ハチなどに数回さされてしまった場合には、アレルギー症状が強く起こることがあります。

これはアナフィラキシーショックと言って、気管支が収縮して呼吸困難となったり、急激な血圧の低下を起こして意識を失ったりすることがあります。

このような場合は、すぐに近くの医療機関を受診してください。

治療薬は？



アレルギー症状の原因となる化学伝達物質の放出を防いだり、働きを抑えたりします。ハチに刺されたときなどは、アナフィラキシーを起こさないようにステロイド剤の注射を打つ場合もあります。



内服薬	アレグラ、エバステル、ジルテック、クラリチン ゼスラン、ポララミン、アレジオン、ザジテン など
点眼薬	リザベン、リボスチン
点鼻薬	インタール、スカイロン
塗り薬	リンデロン、トプシム など



アレルギーの薬は眠くなったり、のどが渇いたりするなどの副作用が知られていますが、しかし最近では、このような副作用を軽減した薬があるので、生活への影響は小さくなりました。

原因や症状は様々ですので、最適な薬物治療を行うためにも早めに受診して、医師や薬剤師に相談してください。